

日本貝類学会平成 21 年度大会（大阪） プログラム

会期 2009年4月4日（土）～5日（日）

会場 口頭発表・総会・公開講演会：大阪市立自然史博物館 講堂（本館1階）

ポスター発表：同 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）

4月4日（土）

9:30～

受付開始

口頭発表

10:30-10:45

A-01 日本産カサガイ類の分類と系統：最近の発見と今後の課題

佐々木猛智○（東京大学総合研究博物館）・中野智之（国立科学博物館）

10:45-11:00

A-02 イガムシロ属 *Hebra* について

井上優紀○・土屋光太郎・瀬川進（東京海洋大学）

11:00-11:15

A-03 ヨシダカワザンショウ近縁種群（腹足綱：カワザンショウ科）の再検討

多々良有紀（東邦大・院理）・福田 宏○（岡山大・農）

11:15-11:30

A-04 日本産 *Smeagolidae* スメアゴル科（新称・北半球新記録科，腹足綱：有肺目）

福田 宏○（岡山大・農）・上島 励（東京大・理）

11:30-11:45

A-05 亜熱帯アジア産のクチミゾガイ類の貝殻内部構造と分類学的位置の再検討

上島励（東大・院理）

11:45-12:00

A-06 佐賀県の古第三系杵島層産のフタバシラガイ科二枚貝類の新種

松原尚志（兵庫人自博）

12:00-13:00

昼 休 み

口頭発表

13:00-13:15

A-07 ネオンファルス上目貝類の進化

狩野泰則○（宮崎大学・農・生物環境科学科）・Anders Warén（スウェーデン国立自然史博物館）

13:15-13:30

A-08 琉球列島産ヤマタニシ類の分子系統地理

上島励○、阿部渉、矢後勝也、山崎一憲（東大・院理）、王 敏（華南農業大学）

13:30-13:45

A-09 分子データから示された日本産イシガイの東西に分化した地理的構造

白井亮久○・梶田 忠（千葉大学院・理・生物）

13:45-14:00

A-10 分子系統解析に基づくニッコウガイ上科における生息姿勢の進化

氏野優○（九州大・理）・松隈明彦・三島美佐子（九州大・総合研究博物館）

14:15-15:00

ポスター発表 コアタイム（奇数番号）

口頭発表

15:15-15:30

A-11 能生（新潟県糸魚川市）の浅海性有殻軟体動物相の研究

田村一利（新潟県立新津高等学校）

15:30-15:45

A-12 潮岬と日御埼：紀伊半島西-南岸の軟体動物地理

大垣俊一

15:45-16:00

A-13 山口県北部における熱帯性貝類の出現状況 2009年時点の知見

堀 成夫（萩博物館）

16:00-16:15

A-14 コハクオナジマイマイとオナジマイマイの越冬生態

入村信博○（千葉県立磯辺高校）・浅見崇比呂（信州大・理・生物）

16:15-16:30

A-15 北海道産カタノカワニナの分布と胎児殻形態の種内変異

高見明宏（財団法人東海技術センター）

16:30-16:45

A-16 カシパン類 2種に見られる形態的に酷似したハナゴウナ科貝類の同定

松田春菜○（広大院生物圏科）・堀 成夫（萩博物館）・長澤和也（広大院生物圏科）

16:45-17:00

A-17 キクイガイ科 *Xylopholas* 属における矮雄の極端な性的二形

芳賀拓真○（東大院・理・生物科学・進化）・加瀬友喜（科博・地学）

17:30-19:30

懇 親 会

4月5日(日)

8:30～

受付開始

口頭発表

9:15-9:30

B-01 ホウライヒザラガイの発生と硬組織形成の特徴

大越健嗣○・箭内時生(石巻専修大 理工)

9:30-9:45

B-02 淡水産基眼目リムネアの直接発生を支える抗菌システムについて

尾城 隆○・見越正太郎・内山佳丈・田代有里(海洋大・海洋生命科学)

9:45-10:00

B-03 潮間帯に生息するカサガイ類の逃避行動の比較

十亀孝維○(神奈川大・院・理・生物), 大和田正人, 金沢謙一(神奈川大・理・生物)

10:00-10:15

B-04 バカガイ幼貝の遊泳行動

高田宜武○・伊藤祐子・林育夫(水研セ日本海区水研)

10:15-10:30

B-05 改訂版『レッドデータブックあいち』の貝類に関する変更点

木村昭一(愛知県環境部環境審議会)

10:30-10:45

B-06 日本におけるカキ礁生態系の研究(予報)

山下博由○(貝類多様性研究所)・森敬介(九州大)・佐藤慎一(東北大)・荒西太(島根大)・逸見泰久(熊本大)・池口明子(横浜国立大)・芳賀拓真(東京大)・伊藤恵子(日本湿地ネットワーク)・牛野くみ子(千葉県自然保護連合)・倉谷うらら(三番瀬海洋生物研究会)

10:45-11:00

B-07 千葉県におけるアビ種苗放流の経済効果

清水利厚(前千葉県農林水産部)

11:00-12:00

平成21年度総会

12:00-13:00

昼 休 み

13:00-14:00

公開講演会「日本近海の外来の貝たち：その現状と分布拡大」 岩崎敬二(奈良大・教養)

14:15-15:00

ポスター発表 コアタイム(偶数番号)

口頭発表

15:15-15:30

B-08 移入種オオクビキレガイ *Rumina decollata* の起源と移動

武田悟史(九州大学大学院)・松隈明彦○・三島美佐子(九州大学総合研究博物館)

15:30-15:45

B-09 港湾における新規外来種の生息基盤としての外来二枚貝コウロエンカワヒバリガイ

伊勢田真嗣(和歌山県農林水産部)・木村妙子○(三重大院・生物資源)

15:45-16:00

B-10 長崎湾へのムラサキガイの侵入時期 -飽の浦沖ボーリングコアからの推定-

石井久夫○(大阪市立自然史博物館)・吉川周作・辻元 彰(大阪市立大学・理)

16:00-16:15

B-11 イシガイのグロキディウム幼生はオオクチバス・ブルーギルを宿主として利用できるのか

石田 惣○, 波戸岡清峰(大阪市立自然史博), 金山 敦, 久加朋子(新日本環境調査株式会社), 木邑聡美, 内野 透, (いであ株式会社), 東真喜子(淀川水系調査グループ貝類班)

口頭発表の方へ：

WindowsXP (PowerPoint2003)、および MacOSX10.4 (PowerPoint2004)のマシンを用意します。PowerPoint2007 をお使いの方は「.ppt」形式で保存してください。システムに標準でないフォントは正しく表示されない可能性がありますのでご注意ください。データはUSBメモリ、またはCD-R等にコピーして当日ご持参のうえ、4日(土)発表の方は当日午前10時までに、5日(日)発表の方は前日午後5時までに受付にお渡しください。到着時間の関係でこの時間に間に合わない方は、あらかじめ大会事務局 (msj2009@mus-nh.city.osaka.jp) までお知らせください(事前の送付をお願いする場合があります)。動画のテストについては、該当する方に事務局からご案内します。

ポスター発表の方へ：

ヨコ約90cm、タテ約180cmのスペースが使えます。プッシュピンは事務局で用意します。パネルはクロス張りのため、テープ等は使えません。コアタイム時間中は、発表者の方はポスター前での発表をお願いします(奇数番号：4日14:15-15:00、偶数番号：5日14:15-15:00)。ポスター会場は同時期に開催している特別陳列「こんなにいる！大阪湾の貝800種！」(同封チラシ参照)の会場と隣接しており、一般来館者も見られるようにします。あらかじめご了承ください。

公開講演会：

5日(日)午後1時～2時に公開講演会を開催します。「日本近海の外来の貝たち：その現状と分布拡大」と題し、奈良大学の岩崎敬二氏(奈良大・教養)にお話しいただきます。詳しくは同封の特別陳列のチラシをご覧ください。

ポスター発表（コアタイム 奇数番号：4日 14:15-15:00、偶数番号：5日 14:15-15:00）

- P-01 秋田県の新第三系からサザエ *Turbo (Batillus) cornutus* Lightfoot, 1786 の最古化石記録とその系統学的意義
富田 進○（中京学院大学）・左向幸雄（和歌山県）・小澤智生（サイバー大学）
- P-02 種子島の中新統基永層群産イモガイ科化石
井上恵介（名古屋大院・環境）
- P-03 相模湾における無人探査機の採集記録から得たシロウリガイ類の生息状況 2 例
伊藤寿茂○・豊田陽子（新江ノ島水族館）・三輪哲也（JAMSTEC）
- P-04 2005-2007 年に調査船若鷹丸により東北地方太平洋岸陸棚および漸深底帯から採集された二枚貝及び掘足類
奥谷喬司 1・齋藤 寛○ 2・芳賀拓真 2,3（1 海洋研究開発機構, 2 国立科学博物館, 3 東京大学）
- P-05 鯨骨に付着するイガイ科二枚貝の幼生・稚貝の形態と行動、成長特性
伊藤希○・大越健嗣（石巻専修大院 生命科学）・藤原義弘（JAMSTEC）・山本智子（鹿児島大）
- P-06 福井県沿岸に見られる打ち上げ貝
福岡 修（福井県鯖江市・故人）・石田 惣○（大阪市立自然史博）・中川登美雄（福井県立丸岡高校城東分校）
- P-07 小笠原固有のカサガイ類の起源
中野智之○（国立科学博物館）・矢崎育子（都立大・院理）・黒川信（都立大・院理）・山口邦久（小笠原水産センター）・桑澤清明（岡山理科大・理）
- P-08 ホウシュエビス上科貝類の多様性解析
藤井美幸○・狩野泰則（宮崎大学・農・生物環境科学科）・Ellen E. Strong（米国立自然史博物館）・Anders Warén（スウェーデン国立自然史博物館）
- P-09 5 未記載種を含む日本産浅海性クチキレエビスガイ科
長谷川和範（国立科学博物館・動物研究部）
- P-10 バヌアツ・ソロモン諸島に出現する河川性アマオブネ類の分類と生物地理
福森啓晶○・狩野泰則（宮崎大学・農・生物環境科学科）
- P-11 ニッポンマイマイ属陸貝の多様化パターンと亜属分類の再検討
亀田勇一○ 1・細将貴 2・呉書平 3・加藤真 1（1 京大・人環, 2 東北大・生命科学, 3 台湾大・生命科学）
- P-12 福岡市西区瑞梅寺川河口におけるオカミミガイ類の生息数と生息環境
森田博文（福岡市東区馬出）・氏野優○（九州大・理）・松隈明彦（九州大・総合研究博物館）・堀雅史（九州大・理）
- P-13 岡山県産ハタケダマイマイ近縁種群（有肺目：オナジマイマイ科）の再検討（予報）
村上 亘○・福田 宏（岡山大・農・水系保全）
- P-14 雌が圧倒的多数のミジンヤマタニシとヒダリマキゴマガイ（原始紐舌目：ヤマタニシ上科）
福田 宏○（岡山大・農）・多々良有紀（東邦大・院理）
- P-15 微小貝類こそ肉抜きを！
多々良有紀○（東邦大学大学院理学研究科）・福田 宏（岡山大学農学部）
- P-16 豪雪地における広葉樹林とスギ林の陸産貝類相の比較
西 浩孝（豊橋市自然史博物館）
- P-17 全国から寄せられた外来種タイワンシジミをはじめとする分布情報
園原哲司○（向上高校）・富沢拓人・山崎愛柚香・鈴木詩織・飯田茜・遠藤菜摘（向上高校生物部）
- P-18 高知県浦ノ内湾におけるミドリイガイの分布状況
山田ちはる○（高知大黒潮圏）・伊谷 行（高知大教育）・上田拓史（高知大海洋施設）
- P-19 アコヤガイ外套膜移植片培養及び貝殻再生時における初期分泌物
町井 昭○（三重県志摩市）・佐俣哲郎（麻布大学細胞生物科学研究室）
- P-20 伊豆半島南部に分布する小型のハナズトガイ科貝類の生態・分類
沼波秀樹○, 後藤 礼, 小澤由梨香, 中村アツコ（東京家政学院大学）
- P-21 神奈川県荒崎及び真鶴に生息するウミウシ類の食性
渡辺麻実○（神奈川大・院・理・生物）・大和田正人・金沢謙一（神奈川大・理・生物）
- P-22 ミドリシャミセンガイとオオシャミセンガイに外部共生する二枚貝の殻形態と CO1, ITS1 塩基配列の比較
大和田正人○（神奈川大・理）・佐藤慎一（東北大学総合学術博物館）・山下博由（貝類多様性研究所）・Jae-Sang Hong（Inha Univ.）
- P-23 カイメンに埋在するウグイスガイ上科二枚貝の形態的多様性とカイメンの対応
椿玲未○・亀田勇一・加藤真（京大・人環）

大阪市立自然史博物館へのアクセス

大会参加者の方は・・・

自然史博物館本館の「事務室入口（通用口）」からお入りください。事務室入口は長居公園内のマラソンコースに面しています（下図参照）。

■最寄り駅：

- 大阪市営地下鉄御堂筋線「長居（ながい）」駅
南改札口3号出口から東へ約800m、徒歩10分
- JR 阪和線「長居」駅
東出口から東へ約1km、徒歩15分

※新大阪～長居（地下鉄）：30分、梅田～長居（地下鉄）：23分

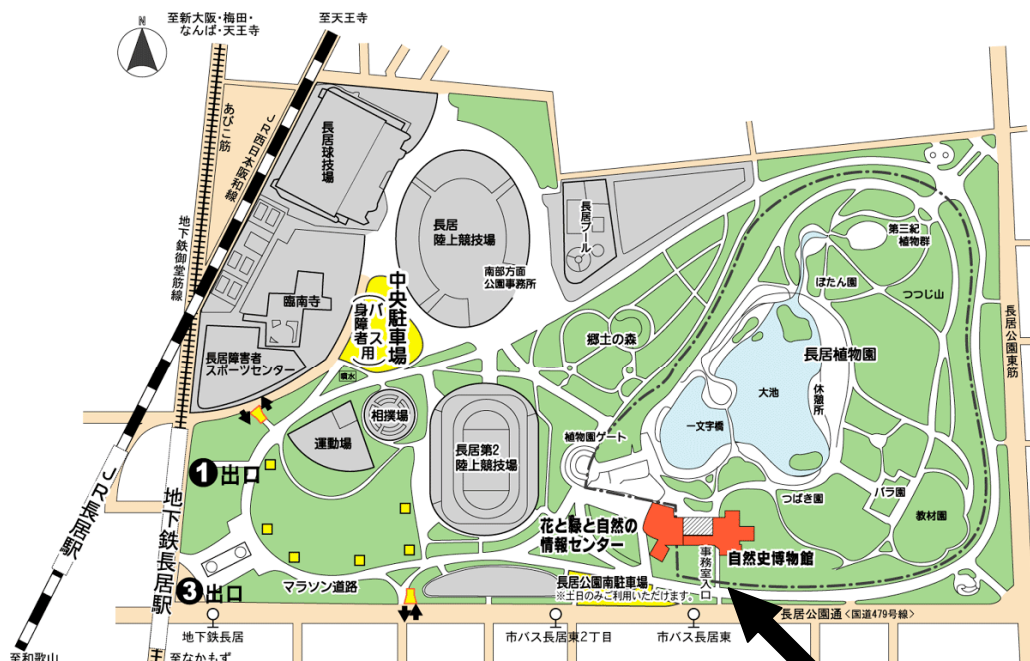
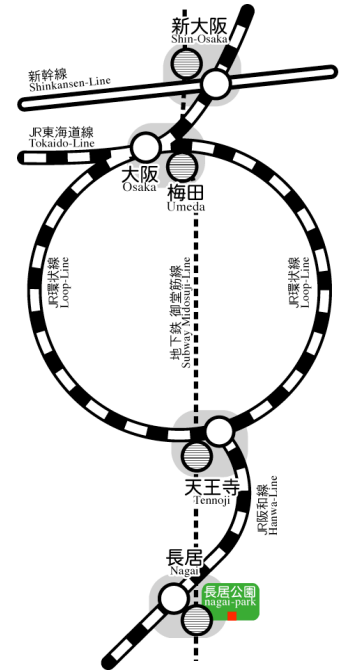
■駐車場：

長居公園には地下駐車場、南駐車場、身障者用の中央駐車場があります（有料）。

- 長居公園地下駐車場：06-4700-4580
- 長居公園南駐車場：06-6691-1443（土・日・祝のみ営業）
- 長居公園中央駐車場：06-6696-7411

料金など、詳しくは各駐車場へお問い合わせいただくか、

<http://www.nagai-park.jp/access/parking.html> をご参照ください。



事務室入口

大阪市立自然史博物館：電話 06-6697-6221

ホームページ：<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>